

2009年度

科目名	地域文化論(総合講座)A				
担当教員	中村 浩、犬木 努				
配当	文 3・人間3			コード	31250
開期	前期	講時	水曜日1限	単位数	2
授業テーマ	(犬木)考古学で地域史を考える。 (中村)古代の地域史を考える。				
目的と概要	(犬木)考古資料の分析を通じて、日本列島における「中心」と「周縁」の問題を考える。 (中村)古代の地域史を考えるために、「風土記」を読みながら、地域の歴史、民俗を考える。				
成績評価法	(犬木)出席状況および試験ないしレポートの内容に基づいて評価する。 (中村)平常点とレポートによる。				
テキスト	(犬木)使用しない。講義中にプリントを配布する。 (中村)授業中に配布する。				
参考書	(犬木)講義中に適宜指示する。 (中村)講義中に適宜指示する。				
履修に 当たっての 注意・助言	私語など、授業態度の悪い学生は、教室の外に出てもらう場合がある。				
講義計画					
<p>■犬木担当分</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 考古学で地域色を考える 3. 縄文時代の地域色 4. 弥生時代の地域色 5. 古墳時代の地域色(1) 6. 古墳時代の地域色(2) 7. 古墳時代の地域色(3) 8. まとめ <p>■中村担当分</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 地域の歴史を知るためには？ 10. 資料の種類と内容(古代史の場合) 11. 地域史史料を読む(「風土記」) 12. 地域史史料を読む(「風土記」) 13. 地域史史料を読む(「風土記」) 14. 地域史史料を読む(「風土記」) 15. まとめ <p>※各項目について数回にわたって行う場合がある。また、概略このような順番・内容で進めるが一部変更する場合がある。</p>					